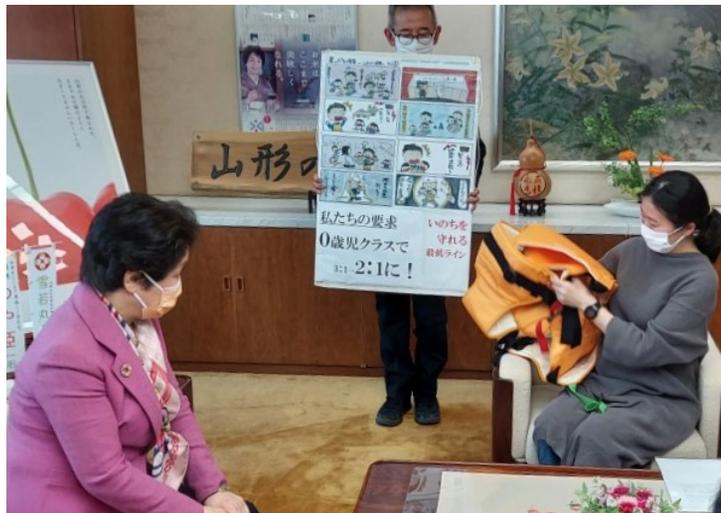


保育士 増員・配置 「国の少子化対策ふまえ 県として必要な支援を検討」



発行責任者 佐藤 完治
山形市薬師町2-6-15
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL: <http://www.yamagataroren.com/>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp



市販のおんぶだっこ紐等を見せながらゼロ歳児では2:1配置が必要だと吉村知事（左）に説明する福保労組委員（右）

吉村知事回答 福保労組委員と県労連に

山形県 労連は三月十四日 吉村美栄 子山形県 知事に対し、最低賃金の全 国一律の 適用やラ ンク制廃 止を国に要請する等の最低賃金に関する施策をさらに前進させること、保育士配置基準の改善・園や自治体独自に保育士を加配している場合の県としての支援など、一〇項目にわたる要請を行いました。保育士配置・加配について吉村知事は「国が掲げる『異次元の少子化対策』を踏まえ県として



吉村知事（左）に要請書を手渡す荻原議長（左から2人目）（右から）関、渡辺両県議も同席

「積木で〇〇作ったよ！」等先に登園した子どものア
おんぶし二人を両脇に抱えるもの（を保育園の避難訓練で試用したが重くて立ち上がれず、準備過程で子どもが泣いて使えなかったことも示し、ゼロ歳児では現行の国の配置基準（子ども三人に保育士一人）を二…に改めることが「命を守る最低ライン」と強く訴えました。朝保護者との別れを嫌がる子どもへの対応と、「縄跳び飛べたよ！」

必要なら支援を検討する」等と回答。「可能な」ではなく「必要な」としたことは重要です。

「配置基準が根幹の問題」
自治体キャラバン二〇二二、佐藤山形市長言及
十二月二十日には自治体キャラバンで佐藤孝弘山形市長に要請。市長は懇談中「配置基準が根幹の問題」と言及し、保育士配置基準改善の要請に理解を示しました。前年度佐藤市長は同様の要請に、国の政策等により経済効果が出るなど「ベースがあつて配置基準の見直しもできる」「卵が

の三歳の孫の話も引用し「大変な中でお仕事をされていると思います」と訴えに共感を示しました。日本共産党の関徹、渡辺ゆり子両県議が同席しました。



佐藤山形市長（左）に要請書を手渡す、（左2人目から）荻原議長、東海林山形地域労連議長



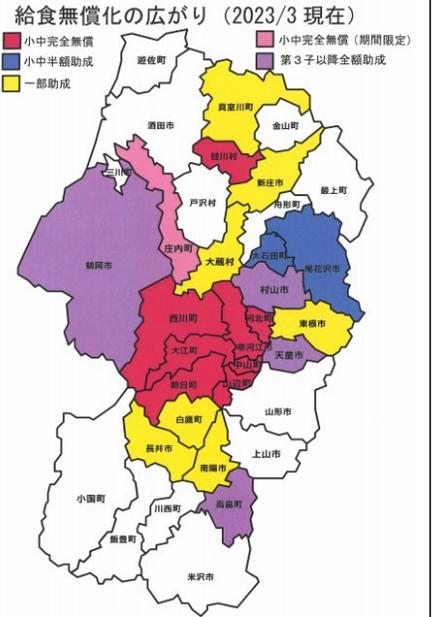
愛知『子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会』パンフレットより 知事要請で拡大パネルにして示しました

	0歳	1歳	2歳	3歳	4,5歳
国の配置基準	3:1	6:1	6:1	20:1	30:1
福保労要求	2:1	4:1	5:1	10:1	15:1

で、対応が前進しています。

山形市内三十二の民間認可保育園は大半、国基準を超える独自配置をしています（同市監査資料/日本共産党山形県議団事務局和泉圭造氏による情報公開請求で判明）。また自治体キャラバン新庄市要請で同市は、民間園で対応が難しい「配慮が必要な子ども」を市営二園で受け入れ、同二園に市独自に保育士を上積み配置している、全体で国基準の倍以上の配置になっており、さらに配置を増やしている旨回答しています。県労連は三月一四日の知事要請で、県は民間園や自治体の上積み配置の実態とその理由を把握し「必要な支援」の内容を検討すべきだと要求しています。

（裏面へ続く）



学校給食無償化の状況(3月現在)



川西町に要請書を手渡す小山置賜 労連議長代行(左)

地域労連と県労連が力を合わせ実施した自治体キャラバン二〇二二。十二月までに合計二四の市町村を訪問しました。

二〇二二年度から小中学校で学校給食の完全無償化に踏み切ったのは寒河江市、西川町、鮭川村。その継続や全市町村への拡大を求めました。寒河江市は「社会全体で支えるべき問題」との見解。「食育は保護者の役割なのでは？」と消極的なコメントもする東根市でも小中学校全員が一部無償化されており、運動で徐々に前進している状況です。

このほか全国一律最低賃金制度への賛同など最低賃金に関わるもの、公務員の増員や処遇改善、会計年度任用職員の雇用安定や処遇改善、年金の改善や公共交通の拡充等高齢者への支援、家族農業支援をはじめとす

二〇二二年度から小中学校で学校給食の完全無償化に踏み切ったのは寒河江市、西川町、鮭川村。その継続や全市町村への拡大を求めました。寒河江市は「社会全体で支えるべき問題」との見解。「食育は保護者の役割なのでは？」と消極的なコメントもする東根市でも小中学校全員が一部無償化されており、運動で徐々に前進している状況です。

大軍拡・憲法改悪とめよう

ウクライナ侵略1年 「9条改憲NO!県民の会」が集会・デモ

九条改憲NO!やまがた県民の会は二月四日、JR山形駅西口前で「ロシアによるウクライナ侵略から一年 大軍拡・憲法改悪に反対する二・二四県都集会」を開き一二〇人が参加しました。

高木紘一共同代表は「戦争は始めたら終わらせるのが難しく、始めてはいけない」「自衛の名による侵略は戦争の免罪符」「抑止力論は無効、相手を信頼し合う外交が必要」の



集会に参加した人たち

三点を強調。参加者からは「敵基地攻撃能力保有を記した安保三文書を国会に諮らず閣議決定し、国民に大軍拡・大増税を押し付ける岸田内閣は打倒を」「憲法九条に基づく外交で平和を」など発言しました。

情報保護についての留意点など、多岐にわたる要求を提出しました。

第41回評議員会を開催

一月二十八日、山形テルサ(オンライン併用)で、山形県労連第四一回評議員会が開催されました。

荻原圭子議長があいさつを行いました。佐藤完治事務局長が県二〇二三年国民春闘方針(二月一〇日の県二〇二三年国民春闘共闘委員会発足総会で採択

されたもの)の補強案を提案。北村山地域のフードドライブの取り組みを通じ、同地域の未組織労働者と結びつき、フードドライブを継続・拡大したい思いの共有に加え、「振り返りの会」(一月二二日実施)では子育て支援などの要求も共有され、「フードドライブを通じて把握された地域の皆さんの要求を実現するためにも、労働組合を大きくしたい」という対話が進み、利用者・ボランティアスタッフとして参加した人が組合加入に意欲を示したこと

吉村県政もっと前に!

統一地方選挙がスタートしています。山形県労連は組合員の候補者・政党選択を権利として保障しつつ、選挙を要求実現の機会ととらえ、積極的な情報交換と議論、棄権せず投票することを呼びかけます。三月三十一日に告示された前半の県議会議員選挙は四月九日投票開票。

(その後実際に加入)が報告され、県内各地域にこの取り組みを拡げようと呼びかけました。賃上げが社会的にも極めて切実に求められる二二三春闘で、ストライキが打てるよう一歩でも前進することなど、労働組合のバージョンアップの具体的課題が提起されました。松木静雄副議長が八月以降四か月間の決算状況を報告しました。

期日前投票も行われます。最低賃金の全国一律適用やランク制の廃止を国に求め、労働者の正社員化に向けた施策を積極的に進めてきた吉村県政をもっと前に進めるため、候補者の公約や主張をよく検討して投票しましょう。大軍拡・大増税をやめ憲法を守り活かすなど、国政課題の前進へどんな勢力が前進すべきかも大きなポイント。選挙で、私たちの要求が実現する地方自治体を!

討論では「労働相談で助言し単組を結成した運送業者。団交前進のためその後建交労と山形地域労連に加



あいさつする荻原議長